

感染症分野

研究領域

「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2017年	研究期間	5年間
研究課題名	フィリピンにおける狂犬病排除に向けたワンヘルス・アプローチ予防・治療ネットワークモデル構築プロジェクト		
研究代表機関	大分大学医学部		
相手国	フィリピン共和国	主要相手国 研究機関	熱帯医学研究所
研究課題の概要			
<p>日本は狂犬病対策で著しい成果を上げており、国内の研究機関は、診断、治療、予防に関する多くの知見を有している。一方、フィリピンは、アジアの中でも深刻な狂犬病流行国である。本研究では、狂犬病に関する日本の知見をフィリピンで活用するために有用性の検証を行い、現地の獣医系検査室と医療施設に普及させることを目的とする。さらに、狂犬病の発生状況を調査・集計・監視を行うサーベイランスのための情報共有システムを構築し、動物の狂犬病対策とヒトの狂犬病発症の予防及び治療に活用する。フィリピンの若手研究者の育成にも配慮した技術移転を通じ、同国のみならず、アジアをはじめとした世界の将来的な狂犬病根絶に向けた感染症制御能力の強化を目指す。</p>			